自然派化粧品「スローコスメ」の市場がフランスで拡大

２月10日（月）、自然で健康的な消費を目指す考え方に基づいた商品「スローコスメ（slow cosmétique）」が今、人気を集めていることが明らかになりました。

スローコスメとは

1986年にイタリアで「ファストフード」に対抗した考え方「スローフード」が生まれ、世界中に大きな反響をもたらしました。それから16年後の2012年、フランスでそれを化粧品に当てはめた「スローコスメ」という考え方が出てきました。

拡大する「スローコスメ」市場

「スローコスメ」は植物や柑橘類のエキスなどの自然の成分で作られた化粧品です。「スローコスメ」のラベルを張った商品を扱
っている企業は10か国で合計
219社以上もあります。現段階ではまだ市場としては小規模ですが、フランスでは４人に１人はこの種の商品のことを耳にしたことがあると答えています。

この市場が120億ユーロ（およそ1439億円１ユーロ：およそ120円計算）ある美容・化粧品市場全体に占める割合は4.5パーセントと決して多くはありませんが、自然素材を使用した商品を求める健康志向の消費者に受け、この市場は拡大を続けています。

スローコスメの定義

「スローコスメ」の商品の特徴は、自然で健康的なだけでなく、環境にも配慮してあるということです。売り上げを増やすために”環
境のため”と謳っている「グリーンウォッシング
」とは違い、本当に環境に良い成分しか使われていないそうです。

商品の大部分は薬局、オーガニックコスメを扱う店、あるいはインターネット上で販売されています。2015年に4000個以上の商品が販売され、300万ユーロ（およそ３億5974万円）の売り上げを達成しました。2019年の第１四半期の
「スローコスメ」商品全体の売り上げは前年同時期より31パーセント増加しました。

2012年にアロマテラピストで美容家のジュリアン・ケベック氏（Julien Kaibeck）によって設立されたスローコスメ協会（Aisbl Slow Cosmétique/Association de droit belge à vocation internationale et sans but lucratif Slow Cosmétique）は、「スローフード
」運動にいち早く賛同したベルギーのスィリー市（Silly）の市長を有識者委員会に迎え、商品のイメージアップを図っています。

スローコスメ協会のホームページは→こちら←

フランス発祥の「スローコスメ」は日本でも見聞きするようになりました。自然派の考え方が徐々に広がっているようです。

執筆・Shunsuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師による
マンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた
質の高いレッスンが好評です。